

# ウイルスとがん、 そして克服されるHTLV-1

発がんに関係する7つのウイルスが広く知られている。その一つ、ヒトT細胞白血病ウイルスI型（HTLV-1）は成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL）の原因となる。

ATLの治療成績は現在も不良であるが、新規薬剤の開発や同種造血幹細胞移植の導入によって、少しずつ改善している。一方、本邦のHTLV-1感染者数は若年層から急速に減少している。これはライフスタイルの変化によるものが大きいですが、近年全国で開始された母子感染対策もそれを加速すると考える。そして、来世紀初めには日本がHTLV-1を克服する世界で最初の国になることを期待している。

鹿児島大学研究推進機構難治ウイルス病態制御研究センター  
血液・免疫疾患研究分野 教授

**講師**                      **石塚 賢治 先生**  
(いしつか けんじ)

1988年3月 鹿児島大学医学部卒業  
1988年6月 鹿児島大学医学部附属病院 研修医（第二内科）  
1990年7月 国立都城病院 医師（内科）  
1991年7月 鹿児島大学医学部附属病院 医員（第二内科）  
2000年7月 隼人町立医師会医療センター 医長（内科）  
2001年10月 福岡大学病院 医員（血液・糖尿病科）  
2002年10月 福岡大学病院 助手（血液・糖尿病科）  
2003年4月 Research Fellow in Medicine,  
Dana-Farber Cancer Institute, Boston, USA  
2006年4月 福岡大学病院 講師（血液・糖尿病科）  
2015年11月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター、鹿児島大学病院 血液・膠原病内科 教授



**日時：2019年4月16日(火)18時～19時**

**場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室**

司会：池添隆之 先生（血液内科学講座）

**参加無料／事前登録不要**

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
  - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
  - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp  
【次回予定】 2019年5月21日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室  
〈講師〉本学医学部産科婦人科学講座 教授 高橋 俊文(たかはし としふみ)先生